

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和2年度

めざす姿	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	5 地域資源の活用
施策関係課	(市長室)広報課／(経済部)産業労働政策課・産業振興課／(教育総務部)文化財課

●施策の基本方針(目標)

本市が持つ多種多様な魅力と誇りを育み、市内外に発信していくことで、多くの交流や活動を生み出し、まちを元気にしていきます。

●目標指標

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果
	目標値	現状値を上回る(令和2年度)		現状値	30.9(平成27年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)	
	実績値	31.1	30.2	28.0	31.2		35.0	
指標②	名称	記者会見・記者発表・資料提供件数			単位	件	指標の種別	活動
	目標値	420(令和2年度)		現状値	379(平成26年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)	
	実績値	368	309	342	395		622	
指標③	名称	1110city.comのページビュー月平均件数			単位	件	指標の種別	結果
	目標値	84,000(令和2年度)		現状値	76,402(平成25年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)	
	実績値	32,082	19,969	12,214	26,432		10,089	
指標④	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)	
	実績値							
指標⑤	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)	
	実績値							

	(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度決算額	令和2年度決算額
事業額	事業費	156,638	172,028	284,312	254,824	3,966,307
	概算人件費	130,400	140,550	138,187	141,189	138,661
	総事業費	287,038	312,578	422,499	396,013	4,104,968

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 56	単位施策② 51	単位施策③ 56	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			54.3	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和2年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (決算額)	令和 2年度 の 総評価	令和 3年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
35100101	シティプロモーション 事業	市長室 広報課	17,503	46,808	47,290	38,272	40,751	56	現状維持 で実施
			11,890	11,310	11,455	11,455	11,455		
35100202	観光事業	経済部 産業振興課	21,889	8,406	92,916	8,130	3,891	56	現状維持 で実施
			15,990	14,040	18,170	14,220	13,904		
35100212	地域物産館施設管理費	経済部 産業振興課	—	2,673	3,860	4,027	4,220	54	効率化して 実施
			—	0	1,343	2,686	2,686		
35100221	その他広報事業	市長室 広報課	10,399	10,766	11,122	10,333	10,828	56	現状維持 で実施
			5,330	5,070	5,135	5,135	5,135		

② 歴史的資源の保護と活用									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (決算額)	令和 2年度 の 総評価	令和 3年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
35200232	郷土資料館施設運営費	教育総務部 文化財課	4,559	3,552	5,119	6,411	6,250	54	現状維持 で実施
			15,580	14,820	15,010	15,010	15,010		
35200301	史跡等管理事業	教育総務部 文化財課	15,551	16,826	17,369	17,736	33,568	48	拡充して実 施
			4,100	3,900	3,950	3,950	3,950		
35200401	赤山城跡保存整備事業	教育総務部 文化財課	28,957	3,570	11,117	53,269	59,440	50	現状維持 で実施
			4,100	3,900	3,950	3,950	3,950		
35200501	遺跡発掘調査事業	教育総務部 文化財課	8,266	7,643	6,672	7,400	7,668	56	現状維持 で実施
			22,140	21,060	21,330	21,330	21,330		
35200601	民俗文化財等調査事業	教育総務部 文化財課	7,385	8,242	3,095	3,884	6,362	42	現状維持 で実施
			2,460	2,340	2,370	2,370	14,170		
35200701	指定文化財候補物件調査事業 (令和2年度から民俗文化財等調査事業 に統合)	教育総務部 文化財課	460	925	80	150	—	—	—
			4,100	3,900	3,950	3,950	—		
35200801	文化財センター 施設運営費	教育総務部 文化財課	1,992	1,209	2,544	1,324	1,732	50	現状維持 で実施
			13,120	12,480	12,640	12,640	12,640		
35200902	歴史的建造物 施設運営費	教育総務部 文化財課	795	576	618	17,311	8,754	56	現状維持 で実施
			5,740	5,460	5,530	7,900	5,530		
35201101	その他文化財保護費	教育総務部 文化財課	4,078	2,583	2,119	1,198	967	56	現状維持 で実施
			3,280	3,120	3,160	3,160	3,160		
35201201	古文書資料収集保管 事業	教育総務部 文化財課	2,056	2,829	246	248	1,411	46	現状維持 で実施
			6,570	6,530	6,590	6,590	6,590		
35201301	古文書解説事業	教育総務部 文化財課	2,398	2,742	1,899	2,143	2,836	53	現状維持 で実施
			6,570	6,530	4,220	4,220	4,220		
35201401	歴史自然資料館開設準備事業 (平成29年度をもって完了)	教育総務部 文化財課	—	14,451	—	—	—	—	—
			—	9,360	—	—	—		
35201502	文化的景観推進事業 (令和2年度から民俗文化財等調査事業 に統合)	教育総務部 文化財課	—	8,122	13,088	69	—	—	—
			—	7,760	7,850	7,850	—		
35201602	歴史自然資料館 施設運営費	教育総務部 文化財課	—	—	—	25,411	20,851	54	現状維持 で実施
			—	—	—	3,160	3,160		

単位施策名 ③ SKIPシティを活用した地域の活性化									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (決算額)	令和 2年度 の 総評価	令和 3年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
35300104	NHK跡地整備事業	経済部	5,350	5,105	5,158	32,508	3,752,978	56	現状維持 で実施
		産業労働政策課	4,920	4,680	6,004	7,031	8,216		
35300202	映画祭関連事業	経済部	25,000	25,000	60,000	25,000	3,800	56	拡充して実 施
		産業労働政策課	4,510	4,290	5,530	4,582	3,555		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35100101	事業名称	シティプロモーション事業			事業区分	通常事業
担当	市長室	広報課	問い合わせ先	259-7628	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び市外在住者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	若者世代の流出を阻むように市の魅力を向上させる他、若者世代の定住促進に留まらず一人でも多くの若者世代、子育て世代の人々、そして本市の伝統であるものづくり産業の担い手、操業者・起業者等を市外から本市により多く呼び込むことを目的とする。	・誘客情報サイト「1110city.com」を基盤とした情報発信・川口市マスコット「きゅぼらん」を活用したPR活動・定住促進冊子を活用した本市知名度の向上・市内外の広告ビジョン、鉄道車両内や駅構内のモニターを用いた本市PR動画の放映・イルミネーション「かわぐち光のファンタジー」(H29～)の実施など	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・新規の本市PR動画を制作・交通広告(J・ADビジョン2/15～2週間、トレインチャンネル2/22～1週間、東京外口2/22～1週間、埼玉高速鉄道3/1～)で本市PR動画を放映・川口駅周辺などにイルミネーションを設置(12/4～2/14)	項目	実績
事業の成果【定性的評価】	広告などのメディア露出や、SNSの更新頻度を増やすことにより、本市の知名度向上が図られ、川口市公式Twitterフォロワー数の目標数値を達成することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市公式Twitterフォロワー数			指標・目標値の説明(算定式)	川口市公式Twitterフォロワー数 (令和7年度末目標値…10,000人 年間増加目標値…1,240人)			
	単位	人	指標の種別	成果					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	297	2,365	3,913	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	10目	002細目	04細々目	シティプロモーション事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	47,893	38,836		41,503		36,177		36,177		
決算額(B)=(C)+(D)	47,290	38,272		40,751						
財源※	特定財源(C)	3,200	3,351		2,430		3,087			
	一般財源(D)	44,090	34,921		38,321		33,090			
概算人件費(E)	11,455	11,455		11,455		11,455		11,455		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	58,745	49,727		52,206		47,632		47,632		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	日本全体の人口減少傾向をみても、早晚ピークアウトを迎えるという危機感を持ち、数多いプロモーションの中で埋もれないようなPR方法を模索する必要がある。川口市が本来持っている多くの魅力を継続して発信するよう、従来の事業内容を強化していく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35100202	事業名称	観光事業	事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	経済部	産業振興課	問い合わせ先	048-259-9018	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施
根拠法令等	地域資源活用事業補助金交付要綱、川口まちかど観光案内所事業実施要綱、川口宿場ヶ谷宿日光御成道まつり実行委員会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市外からの観光客及び市民	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	本市に特徴のある様々な地域資源(観光資源)を活用した観光振興に取り組むことで、魅力ある訪れたいまち、選ばれるまちの実現を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 観光PR促進事業 地域資源を活用した事業への団体補助金 歴史的財産を活用したイベントである「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」の準備、PR まちかど観光案内所事業 		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 観光ルートマップ総合版、各ルート等の配架施設の増加。 地域資源(観光資源)を活用した事業を行う地域団体に対し、対象経費の50%(上限200,000円)を助成。 川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり 秋絵巻の企画検討。 	項目	実績	単位
		地域資源活用事業補助金の交付	1	件
事業の成果【定性的評価】	川口の観光地点をウォーキングルートとして結ぶ11種のマップを各所へ配架し、市内外の方へ川口市の魅力やPRすることに寄与した。また、配架施設を増加し、配送業務を委託することで、ルートマップを手にする機会を拡充した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域資源活用事業補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	地域資源を活用した事業を行う地域団体への助成。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	7	7	7	7	7				
		6	未達成	5	未達成	1	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別								
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	07款	01項	02目	004細目	01細々目	観光事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	96,727	10,377		7,158		37,560		20,560		
決算額(B)=(C)+(D)	92,916	8,130		3,891						
財源※	特定財源(C)	80		0		0		0		
	一般財源(D)	92,836		8,130		3,891		37,560		
概算人件費(E)	18,170		14,220		13,904		13,904		13,904	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.30	0.00	1.80	0.00	1.76	0.00	1.76	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	111,086		22,350		17,795		51,464		34,464	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	観光物産協会、商工団体、緑化団体、商店街等と協力・連携し、地域資源を活用する事業を展開する必要がある。発展した事業を展開するため、情報共有・収集に努め、連携した事業展開を目指す。また、来年度に控えた秋絵巻を恒常化したイベントにしないために、企画を策定していく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	拡充して実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35100212	事業名称	地域物産館施設管理費	事業区分	主要な事業 政策宣言36
担当	経済部	産業振興課	問い合わせ先	048-259-9018	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	イナパーク川口の賑わいの拠点として、地場産農産物の販売などを行い、地域の振興を図る。	地域物産館を集客性の高いイベントやワークショップを開催する使用者に貸し出すことにより、市内外から訪れる利用者の憩いの場所となることで、地域コミュニケーションの活性化に繋げる。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	地域物産館のPRに繋げるため、集客性の高いイベントやワークショップを開催する使用者に貸出した。	項目	実績
		地域物産館利用件数	3 件
事業の成果【定性的評価】	地域コミュニケーションの活性化に繋がった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域物産館貸出日数			指標・目標値の説明(算定式)	令和2年度は令和元年度の目標値と同数とした。				
	単位	日	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	36	達成	40	未達成	5	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	07款	01項	02目	006細目	01細々目	地域物産館施設管理費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	4,647	4,805		5,238		4,996		4,996		
決算額(B)=(C)+(D)	3,860	4,027		4,220						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	3,860	4,027		4,220		4,996			
概算人件費(E)	1,343	2,686		2,686		2,686		2,686		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.17	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	5,203	6,713		6,906		7,682		7,682		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	令和4年度ハイウェイオアシス開業に伴い、川口パーキングエリアからの人の流れが見込まれるため、物産館が常に賑わう策が必要である。そこで、指定管理者制度の導入を検討しており、スムーズに運営が始められるように準備を進める必要がある。	3年度	効率化して実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35100221	事業名称	その他広報事業			事業区分	通常事業
担当	市長室	広報課	問い合わせ先	259-7628		新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施		
根拠法令等			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	川口市掲示板等を利用し、行政情報を提供するもの。	市内の約1,000基ある掲示板の維持管理及び市発行ポスターの貼付		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	毎月1～15日、16日～月末の2回を期間に市発行ポスター等を貼付した。また、町会からの要望で随時、掲示板の新設・移設・修繕等を行った。	項目	実績	単位
		掲示板設置箇所数	1,000	基
事業の成果【定性的評価】	掲示板は市内の人目に付きやすい場所を利用して設置しており、広報効果は極めて高い。市内外に各種市政情報を提供することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	10目	002細目	05細々目	その他広報事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	11,221	10,385		10,879		11,082		11,082		
決算額(B)=(C)+(D)	11,122	10,333		10,828						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	11,122	10,333		10,828		11,082			
概算人件費(E)	5,135	5,135		5,135		5,135		5,135		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	16,257		15,468		15,963		16,217		16,217	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	屋外での事業のため、風雨による破損やいたずら等のリスクを内包している。物理的な情報提供であるが、市ホームページとの連携を模索する等、より効果的な情報提供の検討も必要である。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35200232	事業名称	郷土資料館施設運営費	事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	教育総務部	文化財課	問い合わせ先	222-1061	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 23 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	郷土資料館	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民に郷土の歴史・民俗・文化についての理解、文化財愛護の精神を深めてもらうとともに、収蔵資料を後世に伝えるもの。	文化財資料の展示・学習会・収蔵を行う施設として郷土資料館を運営する。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 企画展を2回実施した(「“みち”との出会い～赤山街道～」、「82校だヨ! 全員集合～川口学校展～」)。 講座を1回実施した(川口和竿作り体験教室)。 小・中学校を対象に、収蔵資料等を活用した歴史教室・社会科見学を延べ151校に実施した。 	項目	実績	単位
		企画展 参加者数	11,960	人
		講座 参加者数	49	人
歴史教室・社会科見学 参加者数	14,337	人		
事業の成果【定性的評価】	市民に郷土川口の歴史・民俗・文化について理解を深めてもらうとともに、文化財愛護精神の高揚に寄与できた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	郷土資料館来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	3,429	未達成	2,136	未達成	3,455	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	007細目	01細々目	郷土資料館施設運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	5,918	6,951		6,592		6,873		6,873		
決算額(B)=(C)+(D)	5,119	6,411		6,250						
財源※	特定財源(C)	1,049	1,068		1,056		948			
	一般財源(D)	4,070	5,343		5,194		5,925			
概算人件費(E)	15,010	15,010		15,010		15,010		15,010		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.90	0.00	1.90	0.00	1.90	0.00	1.90	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	20,129	21,421		21,260		21,883		21,883		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	新型コロナウイルス感染拡大防止のためのイベント中止や臨時休館の影響があったが、インターネットを活用した学習支援コンテンツの配信やオンライン歴史教室の開始で文化財活用の充実を図った。今後も事業内容や実施方法を充実させ、来館者の増加に努めたい。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35200301	事業名称	史跡等管理事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化財課	問い合わせ先	222-1061	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) ・木曽呂の富士塚 ・赤山城跡	受益者(最終的に受益を受ける人)	市民等												
事業の概要	事業の目的(何のために) 国指定重要有形民俗文化財である「木曽呂の富士塚」及び県の旧跡である「赤山城跡」の保存管理等を行うもの。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	「木曽呂の富士塚」と「赤山城跡」保存整備事業区域内における樹木管理、用地施設の修理、土地の借上げ等を行う。												
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・木曽呂の富士塚・赤山城跡の樹木等の管理を行った。 ・木曽呂の富士塚・赤山城跡の修繕を行った。 ・木曽呂の富士塚擁壁改修に伴う実施設計を作成した。	主な実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木曽呂の富士塚樹木管理</td> <td>1,494</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>赤山城跡樹木管理</td> <td>33,761.63</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>赤山城跡賃貸借</td> <td>10,521.11</td> <td>m²</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	木曽呂の富士塚樹木管理	1,494	m ²	赤山城跡樹木管理	33,761.63	m ²	赤山城跡賃貸借	10,521.11	m ²
項目	実績	単位													
木曽呂の富士塚樹木管理	1,494	m ²													
赤山城跡樹木管理	33,761.63	m ²													
赤山城跡賃貸借	10,521.11	m ²													
事業の成果【定性的評価】	用地借り上げ、樹木管理、修繕を行うことにより、本市の貴重な文化財である木曽呂の富士塚と赤山城跡の保護を図ることができた。														

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	樹木管理面積			指標・目標値の説明(算定式)	国指定重要有形民俗文化財と県指定旧跡の保存管理面積				
	単位	m ²	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値					30,000	30,000	30,000	30,000	
実績値・達成状況	35,173.63	達成	35,255.63	達成	35,255.63	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値									
実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	002細目	01細々目	史跡等管理事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	17,420	17,883		35,259		83,830		21,343		
決算額(B)=(C)+(D)	17,369	17,736		33,568						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	17,369		17,736		33,568		83,830		
概算人件費(E)	3,950		3,950		3,950		3,950		3,950	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,319		21,686		37,518		87,780		25,293	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
48 /60	史跡の管理面積が広大で、年々市有地が増加傾向にあり、箇所に応じた樹木等の適切な管理が必要である。民間活用による工夫した管理を検討していく必要がある。また、令和2年度から3年度にかけて、文化財保存と見学者の安全確保のため、木曽呂の富士塚の擁壁改修を実施している。	<table border="1"> <tr> <td>3年度</td> <td>拡充して実施</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	3年度	拡充して実施	4年度	現状維持で実施	5年度	現状維持で実施
3年度	拡充して実施							
4年度	現状維持で実施							
5年度	現状維持で実施							

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35200401	事業名称	赤山城跡保存整備事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化財課	問い合わせ先	222-1061	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 2 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 赤山城跡	受益者(最終的に受益を受ける人) 市民等													
事業の概要	事業の目的(何のために) 県の旧跡で本市の重要な歴史遺産である「赤山城跡」の公有地化整備を行うもの。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 「赤山城跡」の保存整備をはかるため、売却要望のある土地の購入を行う。													
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 県指定旧跡赤山城跡の保存整備用地の購入(測量・鑑定・購入)を行った。	主な実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤山城跡保存整備用地購入</td> <td>2,109.27</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	実績	単位	赤山城跡保存整備用地購入	2,109.27	㎡						
項目	実績	単位													
赤山城跡保存整備用地購入	2,109.27	㎡													
事業の成果【定性的評価】	堀や遊歩道に面する用地の一部を購入し、史跡の保存を図るとともに、その活用に供することができることから、赤山城跡に対する市民意識の向上につながった。														

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	公有地化			指標・目標値の説明(算定式)	旧跡の公有地化				
	単位	㎡	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	359.78	1,717.41	2,234.56	1,566					
	実績値・達成状況	264.40	未達成	1,887.02	達成	2,109.27	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	002細目	02細々目	赤山城跡保存整備事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	11,938	53,815		74,310		21,508	76,430			
決算額(B)=(C)+(D)	11,117	53,269		59,440						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	11,117	53,269		59,440		21,508			
概算人件費(E)	3,950	3,950		3,950		3,950	3,950			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	15,067	57,219		63,390		25,458	80,380			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	保存整備対象地が128,502㎡と広大で、買収に長い年月を要するため、史跡の有効的な活用を検討した購入を行っていく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	拡充して実施
		5年度	拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35200501	事業名称	遺跡発掘調査事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化財課	問い合わせ先	222-1061	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、埋蔵文化財緊急調査費国庫補助要項、文化財保存事業費関係補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	埋蔵文化財	発掘調査を伴う個人住宅を建設する市民、及び各種開発に伴い埋蔵文化財範囲確認調査を必要とする市民・事業者等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	各種開発事業に伴う、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地を確認するための範囲確認調査や埋蔵文化財の記録保存を図るもの。	各種開発事業に伴い、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地を確認するための範囲確認調査や記録保存のための遺跡の発掘調査を実施する。また、発掘調査により出土した遺物等の整理作業を行うとともに記録にまとめ、報告書を刊行する。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	個人住宅建設に伴う発掘調査1件、範囲確認調査22件、及び令和元年度実施調査の整理作業と報告書を刊行した。なお、上記の件数は文化財課予算で実施したものであり、他にも開発原因者負担による調査(発掘調査1件、報告書刊行2件)を実施している。	項目	実績	単位
		個人住宅建設に伴う発掘調査	1	件
各種開発に伴う範囲確認調査	22	件		
実施調査の整理作業及び報告書刊行	1	件		
事業の成果【定性的評価】	埋蔵文化財の記録保存が図れた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	範囲確認調査の件数			指標・目標値の説明(算定式)	範囲確認調査は、開発行為に伴い実施するものであり、目標値を事前に設定できないため、年度実績を便宜上、目標値とする。	
	単位	件	指標の種別	結果			
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況	28	達成	21	達成		22
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	実績値・達成状況						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	003細目	01細々目	遺跡発掘調査事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	9,340	9,478		9,317		10,720		10,967		
決算額(B)=(C)+(D)	6,672	7,400		7,668						
財源※	特定財源(C)	2,800	3,150		3,150		3,150			
	一般財源(D)	3,872	4,250		4,518		7,570			
概算人件費(E)	21,330	21,330		21,330		26,860		26,860		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.70	0.00	2.70	0.00	2.70	0.00	3.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	28,002	28,730		28,998		37,580		37,827		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	今後も、必要に応じて効果的な発掘調査を実施していく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35200601	事業名称	民俗文化財等調査事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化財課	問い合わせ先	222-1061	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 3 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市文化財保護条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化財資料	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市内に所在する民俗文化財や鋳物関係資料等の文化財資料を調査し保護するため。	民俗文化財資料等について現地調査・記録を行い、収集した資料については、洗浄・メンテナンス、調査を行い、台帳に整理し、収蔵・保管する。また、文化財の現況や指定候補文化財の調査を実施する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・民俗資料の調査・収集・整理を行った。 ・資料の洗浄・補修・計測・写真記録・リストの作成を行った。 ・資料図面の作成を行った。 ・所蔵資料の管理を行った。 ・指定文化財及び指定候補文化財の調査を行った。	項目	実績 単位
		民俗資料整理	3,206 点
事業の成果【定性的評価】	市内に所在する文化財の調査・記録し、また収集した民俗資料を調査・整理・記録・保管し、報告・活用することにより、市民の文化財愛護精神と郷土愛の醸成につながった。	文化財現況・指定候補文化財調査	5 回

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	民俗資料整理点数			指標・目標値の説明(算定式)	民俗資料整理点数				
	単位	点	指標の種別	活動						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	925	未達成	809	未達成	3,206	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	003細目	02細々目	民俗文化財等調査事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	4,978	5,524		7,336		7,660	7,165			
決算額(B)=(C)+(D)	3,095	3,884		6,362						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	3,095		3,884		6,362	7,660			
概算人件費(E)	2,370		2,370		14,170		14,170		14,170	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	1.70	0.20	1.70	0.20
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	5,465		6,254		20,532		21,830		21,335	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	7 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
42 /60	調査員・調査補助員と連携した、文化財調査及び民俗文化財資料の寄贈・収集に伴う調査・記録事業である。これらの文化財や資料は、本市の歴史や地域的特色を示すものであり、このうち重要なものについては、指定候補文化財として専門的な調査を実施したり、展示資料として活用していく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35200801	事業名称	文化財センター施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化財課	問い合わせ先	222-1061	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化財センター	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市内に所蔵する資料を文化財センターに収集・保管し、展示・活用する施設として運営するもの。	文化財資料の整理作業を実施し、活用・収蔵を行う。また市民に文化財の大切さを周知するために、文化財に関する常設展示のほか、企画展を開催する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・文化財資料の展示・収蔵を行った。 ・郷土資料館企画展「82校だヨ！全員集合～川口学校展～」のサテライト展示を実施した。	項目	実績 単位
		来館者数	1,161 人
事業の成果【定性的評価】	文化財資料の整理・保管・常設展示を行い、市民の文化財愛護精神を養う一助とした。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化財センター来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	4,342	達成	5,266	達成	1,161	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	004細目	01細々目	文化財センター施設運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	2,707	2,117		1,949		1,929		1,929		
決算額(B)=(C)+(D)	2,544	1,324		1,732						
財源※	特定財源(C)	309		192		147		193		
	一般財源(D)	2,235		1,132		1,585		1,736		
概算人件費(E)	12,640		12,640		12,640		12,640		12,640	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	15,184		13,964		14,372		14,569		14,569	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	新型コロナウイルス感染拡大防止のためのイベント中止や臨時休館の影響があったが、今後も事業内容や実施方法を充実させ、来館者の増加に努めたい。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35200902	事業名称	歴史的建造物施設運営費	事業区分	主要な事業 政策宣言34
担当	教育総務部	文化財課	問い合わせ先	222-1061	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	重要文化財「旧田中家住宅」	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	重要文化財「旧田中家住宅」の保存・活用を行うもの。	大正期に建設された「旧田中家住宅」の文化財としての魅力を多くの人に感じてもらうための活動事業や、また、文化財を保存するため活動しているボランティア団体「魅がきたい」への支援などを行う。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 一般公開及び茶室等の貸出を行った。 主催イベントを2回実施した。(端午の節供、桃の節供) 共催イベントを1回実施した。(文化イベント「常と楽」) ボランティア団体「魅がきたい」の活動支援を行った。 	項目	実績	単位
		イベント参加者数	1,691	人
		ボランティア団体活動参加者数	99	人
事業の成果【定性的評価】	重要文化財「旧田中家住宅」のを広くPRし、市民の文化財愛護精神の向上に寄与した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	旧田中家住宅来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	11,949	達成	6,523	達成	3,115	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	005細目	01細々目	歴史的建造物施設運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	637	17,455		9,125		8,968	208			
決算額(B)=(C)+(D)	618	17,311		8,754						
財源※	特定財源(C)	0	4,175		0		0			
	一般財源(D)	618	13,136		8,754		8,968			
概算人件費(E)	5,530	7,900		5,530		5,530		3,160		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	1.00	0.00	0.70	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,148	25,211		14,284		14,498		3,368		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	旧田中家住宅の活用は、市民文化の向上と文化財愛護や郷土愛の醸成に大変有意義である。今年度はコロナ禍により来館者数が減少したが、今後、重要文化財としての保存活用計画に基づき、魅力ある活用を検討していく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35201101	事業名称	その他文化財保護費			事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化財課	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 元 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	川口市文化財保護条例、川口市管理維持費交付要綱、川口市文化財保存事業費交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	指定文化財所有者、保持団体	市民等			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)			
	指定文化財を維持管理・修理・活用するための費用の補助金交付を行うもの。	指定文化財管理維持費、無形民俗文化財保存継承費、文化財保存事業費補助金の交付を行う。また、各協議会負担金の交付を行う。			
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績			
	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財補助金(指定文化財管理維持費補助金、無形民俗文化財保存継承費補助金、文化財保存事業費補助金)の交付事業を行った。 川口市郷土史会への交付金、県文化財保護協会・県博物館連絡協議会への負担金を交付した。 	項目	実績	単位	
		指定文化財管理維持費補助金交付件数	25	件	
		無形民俗文化財保存継承費補助金交付件数	4	件	
文化財保存事業費補助金交付件数	1	件			
事業の成果【定性的評価】	指定文化財所有者・保持団体に補助金を交付したにより、指定文化財が保護された。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指定文化財補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	指定文化財の補助金交付件数は、文化財所有者の申請に応じて実施するものであり、目標値を事前に設定できないため、年度実績を便宜上目標値とする。				
	単位	件	指標の種別	活動		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	88		32		30				
	実績値・達成状況	88	達成	32	達成	30	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	008細目	01細々目	その他文化財保護費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	2,120	1,320		1,347		3,715		1,350		
決算額(B)=(C)+(D)	2,119	1,198		967						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,119		1,198		967		3,715		
概算人件費(E)	3,160		3,160		3,160		3,160		3,160	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	5,279		4,358		4,127		6,875		4,510	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	指定文化財を次世代へ継承していくうえでの課題を把握し、適切な補助金の交付と文化財保護支援を検討していきたい。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35201201	事業名称	古文書資料収集保管事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化財課	問い合わせ先	222-1061	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	川口市文化財保護条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	本市に残された古文書等の文献資料を調査、収集して文化財課で保管する。	市民及び本市の歴史に関心をもつ市外在住者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	本市の歴史を解明する上で不可欠な古文書等文献資料を調査・収集し、収集した資料を最適な形で後世に伝えると共に、資料の活用を図るため。	本市に残された古文書の調査・収集・整理・保存。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 本市に残された古文書等文献資料を調査・収集し、保存処理・分類・整理・保管した。 収集している古文書等文献資料の永続的に保存を図るために防カビ・防虫等の燻蒸処理を行い保管した。 県地域史料保存活用連絡協議会に参加した。 	項目	実績	単位
		古文書等文献資料の収集件数	6	件
古文書等文献資料の収集件数データ整理	611	点		
事業の成果【定性的評価】	本市に残された古文書等文献資料を、新たに6件、611点調査・収集し、データ処理を行った。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	古文書等文献資料の収集件数	指標・目標値の説明(算定式)	資料の収集は、所有者からの調査依頼等によって適宜行われるものであり、目標値を事前に設定できない為、年度実績を便宜上目標値とする。				
	単位	指標の種別		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	3	3	8	2			
	実績値・達成状況	3 達成	3 達成	6 未達成				
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	163				
	単位	指標の種別		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値							
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	010細目	01細々目	古文書資料収集保管事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	247	250		1,631		278		278		
決算額(B)=(C)+(D)	246	248		1,411						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	246		248		1,411		278		
概算人件費(E)	6,590		6,590		6,590		4,740		4,740	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.50	0.60	0.50	0.60	0.00	0.60	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,836		6,838		8,001		5,018		5,018	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 /60	本市に残された古文書等文献資料の調査・収集、また保管している古文書資料の整理は、今後も継続的に実施し、貴重な歴史史料をより良い形で後世に伝えていかなければならない。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35201301	事業名称	古文書解説事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化財課	問い合わせ先	222-1061	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	川口市文化財保護条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	本市に残された古文書等の資料	市民、及び本市の歴史に関心をもつ市外在住者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	本市に残された古文書資料を解説し、後世に記録として残すほか、それを活用した事業を実施し、市民及び本市の歴史に関心をもつ人に広く公開するため。	専門家に依頼しての古文書解説・古文書講座の実施。解説した古文書を史料叢書として図書刊行を行う。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・古文書資料の解説を推進した。 ・古文書講座を1回実施した。 ・川口市史料叢書第2集(近代編第1巻)を刊行した。	項目	実績 単位
		古文書講座の実施	1 回
事業の成果【定性的評価】	古文書講座参加者に、本市に残された古文書資料の重要性について広く周知することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	古文書講座の参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	開催要項において設定した募集人数				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	30	未達成	28	未達成	10	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	012細目	02細々目	古文書解説事業			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	1,954	2,210	3,074	2,186	2,186					
決算額(B)=(C)+(D)	1,899	2,143	2,836							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	1,899	2,143	2,836	2,186					
概算人件費(E)	4,220	4,220	4,220	4,220	4,220					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.50	0.30	0.50	0.30	0.50	0.30	0.50
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,119	6,363	7,056	6,406	6,406					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
53 /60	本事業の必要性、有効性は高いが、世代交代により古文書資料解説の技能を有する人が減少していることから、古文書を解説できる人材の確保と育成が課題である。更に工夫を重ねて実施していきたい。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35201602	事業名称	歴史自然資料館施設運営費	事業区分	主要な事業 政策宣言36
担当	教育総務部	文化財課	問い合わせ先	222-1061	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	歴史自然資料館	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	歴史自然資料館の運営を通じ、市民に郷土の歴史・文化への理解を深めてもらうとともに、郷土愛の醸成の一助とする。	歴史自然資料館を運営(映像ギャラリー・展示室の一般公開、文化団体への貸し出し)し、企画展やワークショップを開催する。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 映像ギャラリー及び展示室等における常設展示を公開した。 企画展2回、講座・ワークショップ11回を実施。 ホームページを活用し、赤山の自然と歴史を学ぶ塗り絵を配信した。 	項目	実績	単位
		イベント参加者数	4,312	人
		来館者数	39,320	人
赤山塗り絵配信部数	6,630	部		
事業の成果【定性的評価】	市民に郷土の歴史・文化への理解を深めてもらうとともに、郷土愛の醸成に寄与した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	歴史自然資料館の来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況		58,700	達成	39,320	未達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	011細目	01細々目	歴史自然資料館施設運営費				
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度						
予算額(A)	—	25,449	21,627	18,703	18,703						
決算額(B)=(C)+(D)	—	25,411	20,851								
財源※	特定財源(C)	—	0	0	0						
	一般財源(D)	—	25,411	20,851	18,703						
概算人件費(E)		—	3,160	3,160	3,160	3,160					
従事職員人数(人)		常勤	再任用	—	—	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		—	28,571	24,011	21,863	21,863					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	今後、常設展示や企画展、講座・ワークショップの充実を図るとともに、コロナ禍でも対応できるホームページやSNS等を活用した文化財情報等を発信し、旧跡赤山陣屋跡への現地見学へと誘う魅力ある運営を実施していきたい。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35300104	事業名称	NHK跡地整備事業			事業区分	主要な事業 政策宣言32
担当	経済部	産業労働政策課	問い合わせ先	258-1619	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 11 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ③ SKIPシティを活用した地域の活性化
根拠法令等	さいたま新産業拠点整備計画、さいたま新産業拠点(SKIPシティ)B街区利用計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	・事業者 ・地域住民 ・SKIPシティ来場者	・市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	・映像などのコンテンツに関する新しい産業創出や情報発信の拠点とするため。 ・地域住民等の利便性向上のため。	・映像などのコンテンツに関する新しい産業創出や情報発信の拠点として整備・活用するほか、地域住民等の利便性向上のために整備を図る。 ・SKIPシティ利活用庁内検討委員会の開催		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	・SKIPシティの維持管理 ・NHKとの土地交換に向け、埼玉県から土地を取得した。 ・SKIPシティ利活用のため、SKIPシティ利活用庁内検討委員会を開催した。	項目	実績	単位
		B・C街区の除草	2	回
埼玉県からの用地購入	19,079.59	m ²		
SKIPシティ利活用庁内検討委員会の開催	5	回		
事業の成果【定性的評価】	令和4年度のNHKとの土地交換に向け土地の取得。 SKIPシティの利活用について検討を行い、整備の方向性を示した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	SKIPシティ利活用検討委員会の開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	B・C街区の利活用について検討する委員会の開催日数
	単位	回	指標の種別	活動		
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況	0 未達成	0 未達成	5 達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	07款	01項	02目	002細目	03細々目	NHK跡地整備事業	
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度	
予算額(A)	6,119	32,997		3,753,238		39,852	30,879	
決算額(B)=(C)+(D)	5,158	32,508		3,752,978				
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0	
	一般財源(D)	5,158	32,508		3,752,978		39,852	
概算人件費(E)	6,004	7,031		8,216		17,775	17,775	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.76	0.00	0.89	0.00	1.04	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	11,162	39,539		3,761,194		57,627	48,654	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	令和4年のNHKとの土地交換に向けて、NHKとの調整や土地の測量を行う。 B街区及びNHKとの土地交換により取得する予定のC街区の利活用について、外部委員を含めた(仮称)SKIPシティ利活用検討委員会で検討していく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	35300202	事業名称	映画祭関連事業			事業区分	主要な事業 政策宣言32・その他
担当	経済部	産業労働政策課	問い合わせ先	258-1619	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ③ SKIPシティを活用した地域の活性化
根拠法令等	SKIPシティ国際映画祭開催基本方針

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	・映像クリエイター ・映像関連産業関係者 ・映画祭視聴者	同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)			
	・「デジタルシネマ」の裾野を広げ、新しいクリエイターを発掘する ・将来本市の産業の核となる映像関連産業の育成に役立てていく	・世界中から募集したデジタルシネマの中から、優秀作品を顕彰する			
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績			
	・9月26日(土)～10月4日(日)までオンラインにて映画祭を開催 ・映画祭実行委員会例会の開催(月1回、書面会議含む)	項目	実績	単位	
		SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2020の開催	1	回	
事業の成果【定性的評価】	オンライン開催のため企画上映がない中、コンペティション部門にノミネートされた作品のみの視聴回数は昨年の約1.4倍の8,142回となった。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭視聴者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度のノミネート作品視聴者数(視聴回数)を上回る数					
	単位	回	指標の種別	結果							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況	5,149	未達成	5,827	達成	8,142	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	07款	01項	02目	002細目	05細々目	映画祭関連事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	60,000	25,000		3,800		25,000		25,000		
決算額(B)=(C)+(D)	60,000	25,000		3,800						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	60,000		25,000		3,800		25,000		
概算人件費(E)	5,530		4,582		3,555		3,871		3,871	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.58	0.00	0.45	0.00	0.49	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	65,530		29,582		7,355		28,871		28,871	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	オンライン開催の成果を踏まえ、来年度開催予定の映画祭に反映させる。オンラインで再び開催する場合は前年の成果を上回るよう周知・PR活動を行っていく。	3年度	拡充して実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施